

修学旅行新聞

発行所 財団法人 協会
全国修学旅行研究会
〒101 東京都千代田区
西神田2-8-7 (幅ビル)
03(3262) 2426・2932
振替 (東京) 6-36337

平成五年度修学旅行費等の 国庫補助金政府原案が決定

平成五年度の修学旅行、金については、新年度予算
校外活動に対する国庫補助
の政府原案が決定し、一人

当り金額は下表のとおり
となった。修学旅行費は文
部省の概算要求額(本紙36
号に掲載)より減額された
が、校外活動費は概算要求
のとおりとなっている。
総額は、修学旅行費二十
二億八千八百四十二万二千
円、校外活動費五億九千四
十六万六千円、国会会に
おいて国の予算が成立し、

修学旅行費補助金予算単価				
修学旅行費(要保護・準要保護児童生徒対象)				
校種	4年度補助単価	5年度予算単価		
小学校	16,500円	17,200円		
中学校	45,100円	47,000円		
校外活動費(準要保護児童生徒対象)				
種別	校種	4年度補助単価	5年度予算単価	
宿泊を伴わない	小学校	1,160円	1,190円	
	中学校	1,660円	1,700円	
宿泊を伴う	小学校	2,740円	2,870円	
	中学校	4,640円	4,780円	

(上記金額の2分の1が国から補助され、残額については、地方自治体が負担する)

われらの信条

- ★ われわれは教育を熱愛し、友愛と信義を基盤とする同志的組織のうちに団結する
- ★ われわれは全修協創設の精神にのっとり公益法人として、児童生徒の幸福のために挺身する
- ★ われわれは修学旅行の改善向上に邁進し我が国の教育振興に寄与する

正式決定となる。
この補助単価増額について
財団法人全国修学旅行研
究協会(山本種一理事長)
は、毎年文部省、大蔵省に
対して陳情を行っている。

第五回 海外研修セミナー ニュージーランド ホームステイ

1月23日、静岡市で開催

財団法人全国修学旅行研
究協会は、第五回海外研修
セミナー「ニュージーラン
ドホームステイ」を、静岡
県教育委員会、静岡県私学
協会、ニュージーランド大
使館ほかの後援により、一
月二十三日、静岡ターミナ
ルホテルで開催した。
当日は、静岡県下の公立
私立高等学校・短期大学の

校長・教諭ほか教育関係
者約六十名が参加し、ニュ
ージーランド側からは、本
国からエデュケーションイ
ンターナショナル代表を始
め、大使館商務部教育担当
官、オセアニア交流センタ
ー日本代表、ニュージーラ
ンド航空関係者等が出席し
▼ニュージーランドの教
育制度
▼ホームステイのスケジ
ュール
▼日本からのホームステ
イの現状
▼安全性・教育性の実態
▼航空便の状況
▼ニュージーランドの自
然・生活等の環境関係
などについて、「安全性」に
ついては、例えば銃砲等の
所持は日本と同様極めて厳
しい規制があり治安上の不
安は皆無であること、教育
性については、英語研修
では、クイーンズイングリ
ッシュが公用語であるので

者約六十名が参加し、ニュ
ージーランド側からは、本
国からエデュケーションイ
ンターナショナル代表を始
め、大使館商務部教育担当
官、オセアニア交流センタ
ー日本代表、ニュージーラ
ンド航空関係者等が出席し
▼ニュージーランドの教
育制度
▼ホームステイのスケジ
ュール
▼日本からのホームステ
イの現状
▼安全性・教育性の実態
▼航空便の状況
▼ニュージーランドの自
然・生活等の環境関係
などについて、「安全性」に
ついては、例えば銃砲等の
所持は日本と同様極めて厳
しい規制があり治安上の不
安は皆無であること、教育
性については、英語研修
では、クイーンズイングリ
ッシュが公用語であるので

最新の条件であること、日
本のような学校間格差が全
くないので留學先の選定が
容易であること、「環境条
件」の面は、日本の学校の
夏休み期間は現地は冬季に
当たるが、日本の十一月中
旬ぐらいの気候であるから
むしろ過ごしやすく、広範
な教育行事が組み立てられ
ること等、具体例を挙げて
詳細な説明が行われ、学校
側からの相対に踏み込んだ
質問に対しても懇切な回答
があつて、ニュージーラン
ドホームステイについての
理解が深められた。
静岡県教育委員会は、平
成元年度から、県立高等学
校の海外修学旅行を許可し
ており、その意味からも今
次セミナーは海外への教育
研修の在り方について示唆
の的となるであろう。2・26事件
の日のような大雪が降るの
はこれからである▼梅の香
ただよふ湯島天神には合格
祈願の受験生の列が続き、
スキーの帰途東京に立ち寄
った修学旅行生のグループ
も訪れる。志望校を書いて
奉納された絵馬の数はおび
ただしい。上野の山では早
咲きの桜が開花した▼愛容
を続ける東京。朝の連続テ
レビスの冒頭に都内の景
観が放映されるが、今とは
異なる部分もある。両国の
江戸東京博物館は三月末に
開館、東京港横断のレイン
ボーブリッジは夏に開通し
て、修学旅行の見学先が更
に増える▼東京都庁展望室
や、しながわ水族館の入口
の行列は減ったが、新施設
にはまた物見高い江戸っ子
が殺到することだろう。新
しい見学先を加える場合に
は、待時間を計算に入れる
ことを忘れない。

ツシユが公用語であるので

一月は皇太子
妃決定、米国新
大統領就任、初
の外国人横断証
生、そして剣路

韓国「自由の橋」で「平和」を再認識



(北海道立苫小牧総合経済高等学校、2面に関連記事)

主張

スキーと修学旅行

広報委員 北條直樹

一月、スキーシーズンである。高校
が中心だが、中学校でも「スキー修学
旅行」で銘打って実施する学校がある。
確かにスキー体験を通して得られる
ものは大きいものがある。中学校にお
けるその体験は、生涯にわたって健康
的で運動に親む態度を身に付け、心
身共に豊かな生活をもちたすことにな
る。

また、寝食を共にするだけでもなく、
スキーを共に経験することを通して、
教師と生徒、生徒相互の融合にも好
ましい結果を生むであろう。昼間の活
動が夜の熟睡を誘い、生徒の健康管理
も行き届くことになる。

このように、スキーの教育的効果は
認められていて、さして修学旅行に位置
するべきである。

「スキー学習も「自然に親しむ」活動
と言えないことはないが、山岳・森林
・海洋・湖沼・河川・平野など、自然
の懷は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

この問題について考える場合、基本
的には、学習指導要領、特別活動の旅
行・集団宿泊的行事」が端的に答えて
くれる。

つまり、修学旅行のねらいは、第一
に、「平素と異なる生活環境にあって、
見聞を広め」ることであり、その内容
は、「自然や文化などに親しむ」体験学
習なのである。

スキー学習も「自然に親しむ」活動
と言えないことはないが、山岳・森林
・海洋・湖沼・河川・平野など、自然
の懷は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

「見」は極めて大きい。百聞一見にしか
くれないが、自然の大きさを「見」

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

ツーリストの修学旅行。

近畿日本ツーリスト

本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店/国内250店(登録)/海外15店 ◎運輸大臣登録一般旅行業第20号

登校拒否と特別活動がごう結ぶのか、もし、特別活動が望ましい集団活動を基盤としてしっかりと行われていけば、少なくとも友達との人間関係を巡る問題が、登校拒否の直接のきっかけのトップにならないのではないか。その意味で特別活動が「危機」にあるという認識である。

青年前期の豊かな人間関係を形成する、そのための集団活動の在り方が、今、中学校教育で改めて問われているのではないかと。

「特別活動の危機」の二点目は、学校の教育課程の編成にかかわる問題である。その一つは、クラブ活動の時間が従来より確保されているのかの問題、二つ目は学校週五日制とのかわりの中で、学校行事の見直しが行われていることである。

クラブ活動の時間数も「部活動代替」でいくことになるのか。時間の波形表示は特別活動だけではなっていない。どういった方向で進めたいのか。

新中学校学習指導要領は中学校の教育課程における選択幅を拡大することが前提を見付け、そこから自分が住む日本を見直すことである。その一つに、極く身近な衛生とどう点から見るか。韓国は何かと汚く、余り良い印象は浮かばなかった。確かに非衛生なものが多いのが現状だが、街路に「ゴミが落ちていない」とは少なからず無かった。それに比べ日本はどうか。

各中学校の教育がそれぞれ個性を持つこと、そして学校の実態、生徒の実態に応じて教育課程編成の中でどうするか、考えるべき問題ではないか。そうやっていらない点に、特別活動の一分野ではあるがクラブ活動の危機を感じるのだから。

本日は、各中学校にたいして大事な点は、この学校週五日制は、やはり学校と家庭と地域の教育が果たしてきた役割を見直すこととセットで考えないと、特別活動やゆとり時間をどうするのだから議論になった。

これは、学校週五日制の中で生涯教育をどう進めていくかの視点から、学校教育、家庭教育、社会教育、この三者をどう生懸命な姿勢で感謝の気持ちで一杯になった。今後の日韓の友好を深めるために、私たち高校生にも出来ることがあると思っ

例えは、今まで学校が受けていた教育活動の一部を市町村教育委員会の社会教育に受け持ってもらったことである。そして、縮小した時間は学校の教育活動のどこかにし寄せられることになる。これは市町村単位や教育委員会単位、一つの地域単位で考えないと、学校教育にばかりし寄せが大きくなる。

余談になるが、私は学校週五日制は、今までの教育の枠組みを委縮することと考えている。今までの教育の枠組みを委縮することと考えている。今までの教育の枠組みを委縮することと考えている。

修学旅行生の作文

へ心に残る修学旅行

韓国にて日本を思う

北海道立苫小牧総合経済高等学校 佐藤 友子

「たかが三、四日韓国の修学旅行に何の勉強にもならない、何が身に付くのか。」時に、自分への課題も生まれました。研修旅行が韓国が日本国内か、はつきり決まっていた。しかし、事前研

「たかが三、四日韓国の修学旅行に何の勉強にもならない、何が身に付くのか。」時に、自分への課題も生まれました。研修旅行が韓国が日本国内か、はつきり決まっていた。しかし、事前研

「たかが三、四日韓国の修学旅行に何の勉強にもならない、何が身に付くのか。」時に、自分への課題も生まれました。研修旅行が韓国が日本国内か、はつきり決まっていた。しかし、事前研

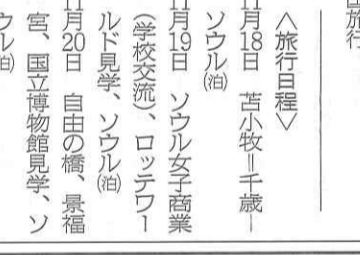
「たかが三、四日韓国の修学旅行に何の勉強にもならない、何が身に付くのか。」時に、自分への課題も生まれました。研修旅行が韓国が日本国内か、はつきり決まっていた。しかし、事前研

「たかが三、四日韓国の修学旅行に何の勉強にもならない、何が身に付くのか。」時に、自分への課題も生まれました。研修旅行が韓国が日本国内か、はつきり決まっていた。しかし、事前研

「たかが三、四日韓国の修学旅行に何の勉強にもならない、何が身に付くのか。」時に、自分への課題も生まれました。研修旅行が韓国が日本国内か、はつきり決まっていた。しかし、事前研



ソウル女子商での交流会 (中央前から二人目が筆者)



ソウル女子商での交流会 (中央前から二人目が筆者)

とびだせ自然へ 緑の箱根へ

箱根高原ホテル

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164 電話0460-4-8595(代表)

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー 自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください

鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル

〒321-16 栃木県日光市湯元温泉 TEL. 0288(62)2121(代表)

東京コマ旅行会館は 第8回優秀防火建築表彰で 建設大臣賞を受賞いたしました。

東京でのお泊りは 安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉 東京都港区六本木1丁目7番地 TEL (03) 3585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

楽しい修学旅行を、より安心 より快適に 「学校旅行総合保険」をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)